

二万五千石 ヤナ川	隅田大炊	一万石	嶋津早齋勝久
二万石	大関常陸介	三万石	色部修理長實
三万石	安田上總介	五万石	田 左内
八万石	岡田将監	五千石	栗生半左衛門
二万石	北川図書	七千石	布施政市左衛門
同	安田勘介	二千五百石	外地甚五右衛門
千五百石	青木新三	一万石	岩井備中
五千石	井筒玄之助	二千石	二本松市京
一万石	川村兵庫	千石	志村修理
七千石	町野左近	六千七百石	渡邊左衛門

修理大夫義康版而生害之者

一 義光公嫡男修理大夫義康武勇智略といひ義光公の御
 家督相違有るを思ふ所又他人の者有る義康の近習
 比者何れの中合せ之密に義康より上より何時迄に
 御座住を請ふ所不自由の痛歎ありあり 大坂元光祥
 の可成り小の家督許譲りたされし所隠居極きとき
 左様も年々座不審千石より多き如何様中男駿河
 守康數年江戸に在りて家康公に最忠の由承りし
 駿河守版の家督を継ぎ思召の古座に式と色に忠
 謹言中々此義康も在り有る様と思召たるよし折に